

第1回 電力需要予測コンテスト結果

賞	受賞者(敬称略)	審査委員コメント
最優秀賞	株式会社東芝	コンテスト期間は季節の変わり目であるということもあり、気象予報を用いた需要予測手法は影響を受けやすい。本応募者は、その弱点を、多地点の気象予測を用いることで成果につなげた。また、アンサンブル学習を行うことで更なる精度の向上に努め、工夫と潜在力を感じた。今後の発展が楽しみ。
第2位	TESLA Asia Pacific, Ltd.	限られた気象データしか用いていないにもかかわらず、年間予測、本番予測共にパフォーマンスが高かった。このことから、本応募者の手法により充実したデータを用意することで、更なる精度向上が期待できる。
第3位	日本気象株式会社	地域ごとの人口重み付け気温等の発想に気づきを得られた。シンプルな手法であるが精度が高く、伸び代がある。
プレゼン賞	宇田 渉(株式会社ユーワークス)	需要を左右する要因毎に問題を分解するというコンセプトが興味深い。シンプルで魅力的な手法である。社会活動に関する指標等を取り入れている点で、独創的であった。
特別賞	千代田化工建設株式会社	無料で入手可能なデータを用いているにもかかわらず、気象予報が外れた場合でも安定した需要予測となるよう工夫した手法となっている。説明変数を多く用意し、ニューラルネットワーク全結合する等、工夫をしている。今後の発展に期待。
特別賞	一般財団法人日本気象協会	年間予測の精度が高い。また、気象予測の強みを生かし、最適化していくアプローチが特徴的。